

P-33 横田 泰之

理化学研究所 Kim 表面界面科学研究室
e-mail: yyokota@riken.jp

2007年 理研 基礎科学特別研究員
2009年 阪大 助教
2015年 理研 研究員



電気化学界面の探針増強ラマン分光

近年、SPM に匹敵する高分解能で表面の振動分光測定が可能であり、且つ測定環境を選ばないことから、探針増強ラマン分光(Tip-enhanced Raman spectroscopy)が注目を集めている。特に、2009年に Zenobi らのグループによって最初の水中 TERS 測定の結果が報告されて以来、溶液環境で動作する TERS システムの開発が活発化している。電気化学環境下の TERS (EC-TERS)についても数例の報告例があるが、ラマンイメージングを行うためには課題が山積しているのが現状である。本発表では、我々の EC-TERS システムの開発について報告し、高分解能イメージングに向けた課題について述べる。